

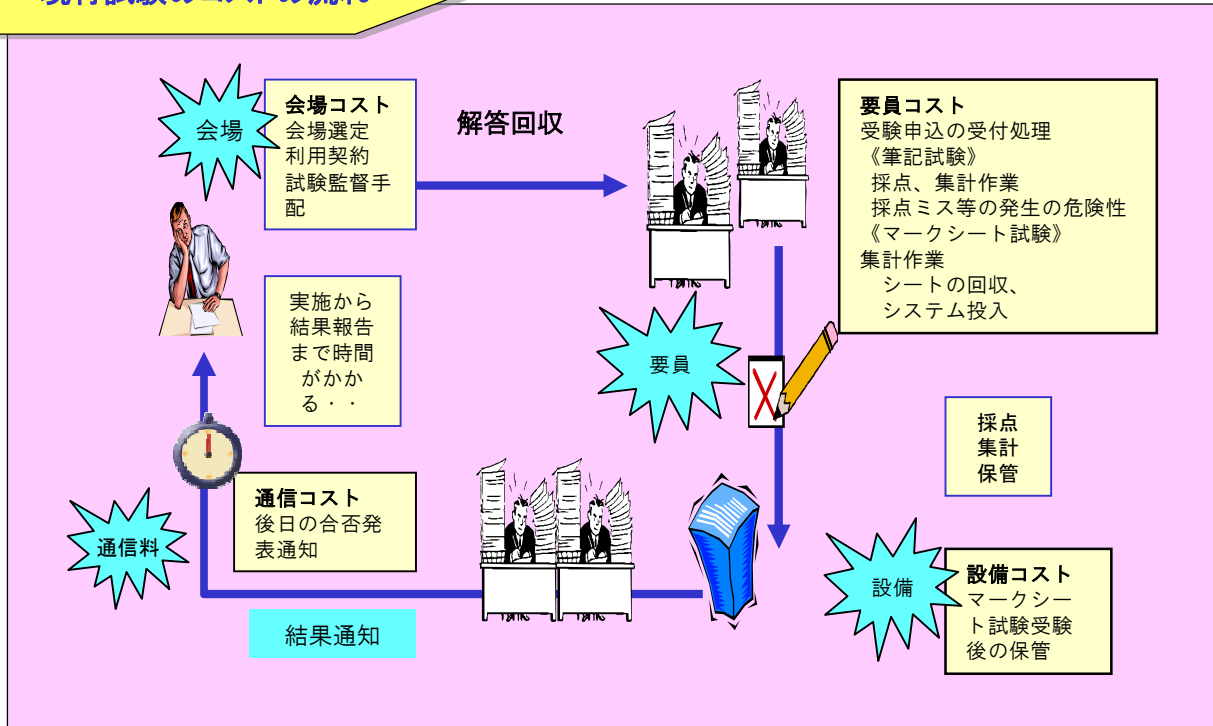
受験生UP!

現行試験に
新しいコンピュータ試験
のルートを構築する
(CBT化)

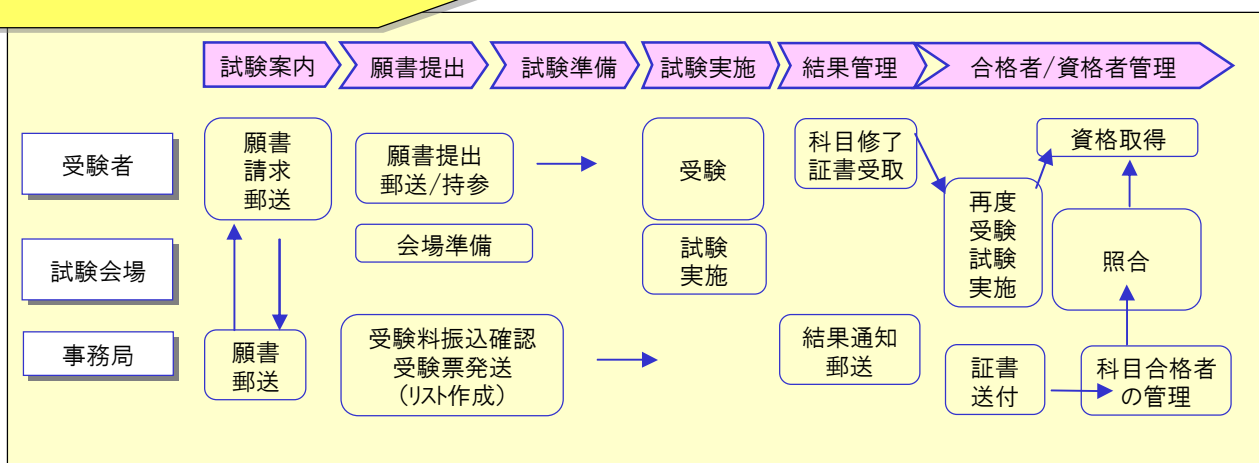
第1回

はじめに、現在の試験方法を分析し課題を探します

現行試験のコストの流れ



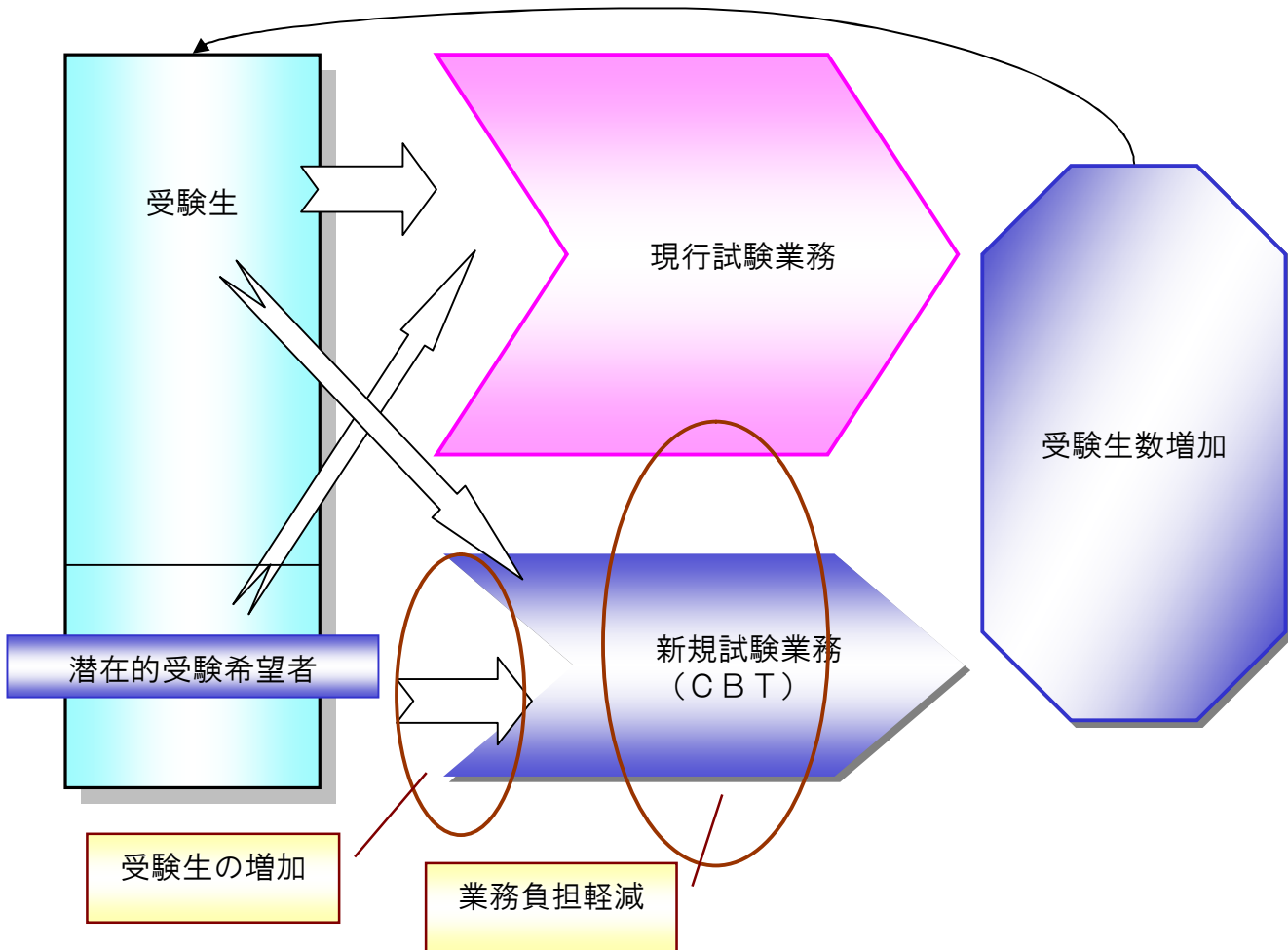
現行試験の業務の流れ



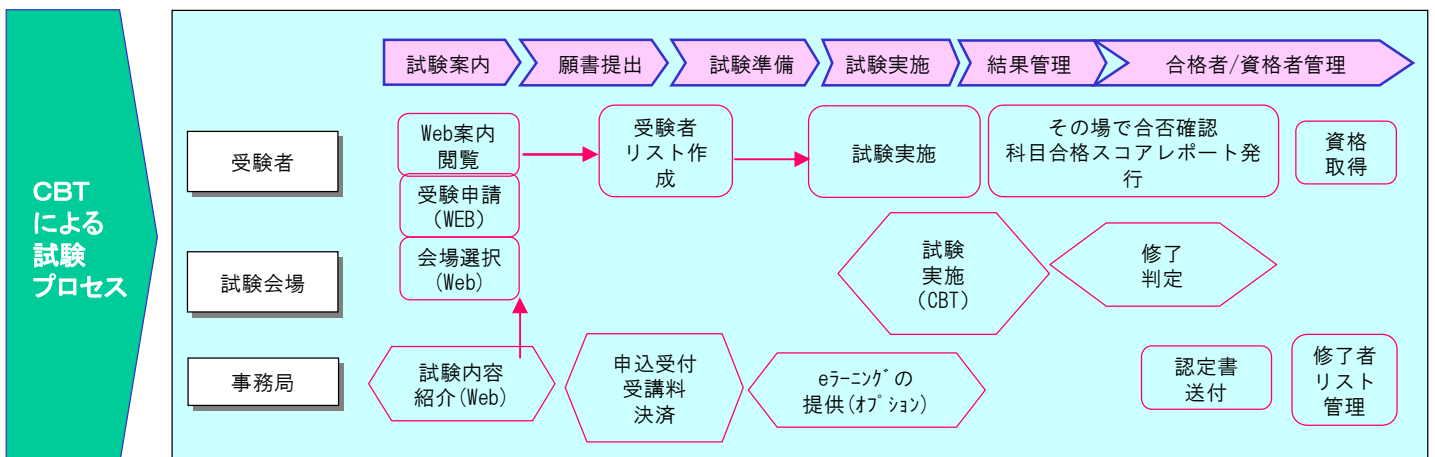
課題！

- 願書等の手続き業務が過大
- 合格者の管理業務が過大
- 会場準備の手間、試験問題の管理や回収が過大
- 係わる人員コストが過大
- 集計作業に手間とシステム投入費用が過大
- データの保管費用が過大
- 郵送費などの通信コストが過大
- 都度の会場選定などの経費が過大

現状の試験においては、経済性・業務量に関して多くの課題が残されているなか、ITを利用した新しいCBTシステムの導入により、受付・登録・試験実施の業務形態を構築することができ、現状業務を補佐することができます。



現制度に殆ど業務負担のかからない、新しい試験(CBT)のルートを構築することにより、より多くの受験生に対し、業務負担を増加させること無く、サービスを提供させていただくことが可能です。



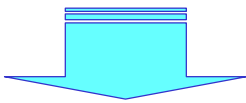
CBTとは、【コンピュータを利用した試験】

CBT (Computer Based Testing)とは、
 テストや受験手続きをすべてパソコンを利用して行なうシステムです。
 受験者は、パソコンの画面に表示される問題をマウスやキーボードを使って解答し、
 受験結果は終了と同時に確認ができます。
 受験場所や時間を自由に設定することができるため随時試験が実施可能なシステムです。

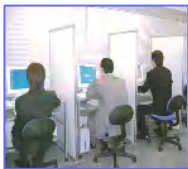
運用負荷が軽減し、運用コストが削減され、安全性が向上します！

試験主催
団体様

紙を取り扱う負荷やリスクを軽減し、問題作成から結果の回収と認定までの時間を大幅に短縮します。CBTシステムのASPサービスや業務代行サービスを利用することにより、システム開発・試験受付・会場手配・会場設営・テスト監督官の手配等が不要になります。試験は、インターネット情報を保護するSSLの採用や試験官が在籍している会場にて行なわれるため不正防止や安全性を確保することができます。また、試験と研修を連動したeラーニング・ナビシステムも構築できます。



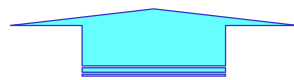
受験生の満足度が大きく向上します！



受験生

受験生が受験日時と場所を自由に選べるため、受験の際の利便性が大きく改善されます。テストの終了と同時に結果が判明するので、タイムラグによる不安や時間の無駄を省くことができます。

さらに



新たな技術の活用により効率化、適正化することができます！

問題制作者

マークシートやペーパー試験ではできないさまざまな技術を活用できます。設問毎に解答時間を制限したり、残り時間を表示することができます。ドラッグ&ドロップなど、選択式以外の解答方法、音声、ビデオ、資料、マニュアル等の組込み、シミュレーション試験、ケーススタディ試験、計算機や外部アプリケーションソフトの組込み、及び、マルチメディアやブラウザを利用した新しい試験を実施できます。問題の作成をより効率化、適正化することにより、作成コストを軽減することが可能です。実験的な問題やデータの取得を目的とした問題を容易に組み込めます。

少数受験でも、導入できます！

- CBTシステムをASPにて提供しています。
- 少数でも、全国の認定会場にて年間を通して受験ができます。
- CBTサービス提供や事務局の代行サービスが受けられます。

試験問題の改良や改善、管理が容易です！

- 主催団体様からの試験形式の改良や改善のご要望にお答えします。
- 国内に試験配信サーバを設置しているため、ご要望に迅速に対応します。
- 実際の出題画面を見ながら、試験問題や選択肢のチェック、追加、修正が容易に行えます。
- 「記述形式」、「シミュレーション形式」等の特殊な問題形式も利用できます。

業務の軽減や諸経費の負担を削減することができます！

- 受付申込、受験票の配布、受験料の徴収のすべてをオンラインで実施します。
- 時間のかかる採点は、システムが自動判定します。
- 結果を示すスコアレポートや認定証、合格キットもその場で印刷し手渡しできます。
- 主催者様は、遠隔で瞬時に採点結果を管理画面より見ることができます。
- 次回受験の案内や受験申込を自動化することができます。

分析情報の提供で、さらに品質が向上します！

- 各試験の受験結果を元に分析情報を提供しています。
 - 1) 得点分布傾向（年齢・地区・経験 等）
 - 2) 合格基準の設定、検討に必要な情報の提供
 - 3) 問題別および分野(カテゴリ)別の得点率情報
 - 4) 新規問題作成時に必要な情報の提供

いつでも、どこでも、どなたでも試験を実施できます！

- いつでも受験できるように24時間の受験受付と毎日の試験実施を行なっております。
- どこでも受験できるように全国に認定試験会場(試験官在籍)を開設しています。
- 特設会場での急な試験実施の要請にも対応します。(インターネット接続環境が必須)
- どなたでも試験官を行なえるように遠隔教育による試験官養成を随時行なっております。



【認定番号】
第10861696
(01)号



信頼あるプライバシーマーク付与の認定事業者！

プライバシーマーク制度は、日本工業規格「JIS Q 15001個人情報保護マネジメントシステム—要求事項」に適合して、個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者等を認定して、その旨を示すプライバシーマークを付与し、事業活動に関してプライバシーマークの使用を認める制度です。

(株)ジェイ・ジェイ・エスは、プライバシーマークを付与されている認定事業者です。

さらに、認定試験の主催団体様から見た情報保護の基準に照らし合わせ、定期的に監査を実施しています。常に適切な情報保護に努めています。

万全のデータ漏洩対策！

会場サーバからの漏洩防止

対策

受験者や問題のデータは、センターの配信サーバから直接受験者マシンに配信されるASP配信型のため会場サーバ型と違い会場にデータが残りません。

問題データの持ち出し防止

対策

マウスの右クリック等ショートカットメニューが表示されない対処を施しており、ディスク上に記憶情報が残らない対処をしております。

ディスプレイ表示内容の持ち出し防止

対策

受験画面のデジカメ撮影などの試験情報の持ち出しを防止するために、認定試験官(アドミニストレータ)が試験監督を行なっています。

ASP型
CBTシステムの推奨モデル！

弊社データセンターの試験配信サーバに、インターネットを経由して直接各受験用マシンに接続します。会場では特別な事前準備は必要ありません。試験会場は、インターネットを接続できる環境であれば会場の立地を選ばないという利点があります。

インターネットを経由し、試験問題を直接、受験用クライアントに配信します



- Web上から試験申込み
- 受験用ID取得
- 受験申込み



データセンター

Web受付システム

マスターデータサーバ。

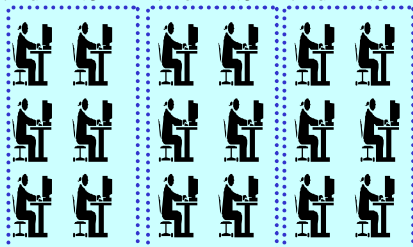
全国試験会場からのデータを集積

低コストで、安全性が高く、
立地を選ばず、事前準備の必要がない！

SSL技術を用いて回線上を流れるデータを暗号化し外部には情報が一切漏洩しない保護をしています。



受験会場A 受験会場B 受験会場C



試験監督者

- 試験官
- 会場1名以上
- 技術担当
- 不要



結果レポート・認定証発行

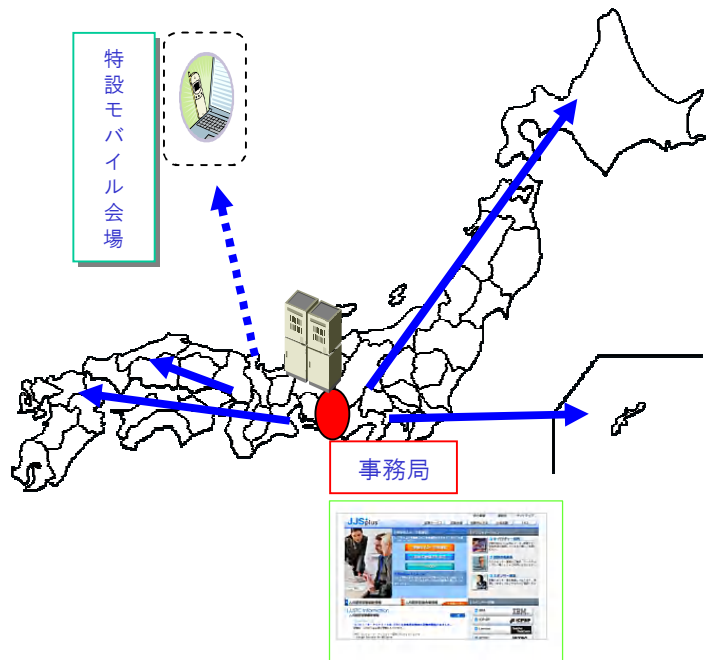
主催団体様が利用可能な全国の認定試験会場

主催団体様は、全国各都道府県の222会場(認定会場)を利用して試験を実施することができます。

また、主催団体様の提携先企業や自社地域会場に特設モバイル会場を新設し、専用に試験を実施することができます。

全国の認定試験会場

地区	会場数	全座席数	受講数/日
北海道	19	231	693
東北	38	474	1,422
北陸	5	33	99
東京	24	250	750
関東	37	308	924
甲信越	7	38	114
東海	17	199	597
関西	28	688	2,064
中国	16	160	480
四国	9	169	507
九州・沖縄	22	429	1,287
計	222	2,979	8,937



認定試験会場

当社が認定している試験会場です。
現在、47都道府県で222の認定試験会場様が、CBTを用いた試験会場として活動しています。

公開会場

一般の受験者も対象に日時を決めて実施しています。

非公開会場

企業や団体が受験者を限定して随時実施しています。

特設モバイル会場

団体受験やイベント会場での受験などでは、その会場に臨時試験会場を開設し試験を行なっております。

(出張試験の実施や特設会場の設置)

*試験官、テクニカルスタッフの派遣やPC機器、通信機材の提供やネットワーク環境の事前設定も行なっています。

Webで受験申込!

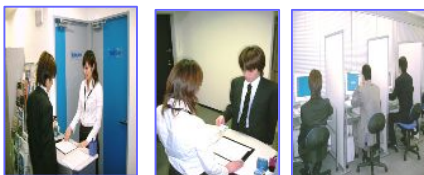
受験申込の手続き、受験日・会場・受験科目の予約、受験料のお支払い
いはすべてインターネットで簡単に手続きが可能です。

- 24時間、日祭日も受験申込み受付ができます。
- 申込書や受験票など、書類送付の手間が省けます。
- 日時や会場も同時に予約ができ、同時に試験配信準備も連動して自動完了となります。
- 申込後の変更やキャンセルもすぐに対応できます。
- 受験申込時のWeb決済により受験料回収の手間が省けます。



クレジットカード・銀行振込等の決済代行を行いません。

⇒会場受付 ⇒本人確認 ⇒受験



アンケート
(試験前後で実施可能)

- ①会場にて受験当日会場受付を行います。
注意事項・確認事項をお読みいただきます。
 - ②確認書(メールにて送信)の提示と身分証明書を提示いただき、本人確認を行います。
- 運転免許証
パスポート
クレジットカード(写真付)
住民基本台帳(写真付き)
学生証(顔写真、学生番号付)
社員証(顔写真、社員番号付)
- ③Log Sheet(受験票)に入室時刻と、身分証明証の種類を記入し、受験室にて試験開始

結果レポート
認定証発行

⇒証書の発送 ⇒結果分析

受験者データの一元管理が出来るため、次回の受験手続きが簡略化でき賞状発行も自動化できます。

分析情報の提供でさらに品質が向上します!